

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 22 日 作成

事務事業名		外国青年招致事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	中島正剛	
	施策	19	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	西村充保子	
	基本事業	61	学力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	2224	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	2
		1	10	1	4	10611			コスト削減優先度評価結果	11
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H12 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】全国市町村国際化協会及び人材会社等と契約し、合計3名の外国人英語指導助手の人材を確保し、市内3中学校に派遣し英語授業の助手として英語力及び国際感覚を享受する。また、空時間を利用して小学校へも派遣し、児童の英語への興味を抱かせることにも活用するもの。 【業務の流れ】平成20年度2学期からは、全国市町村国際化協会からは招致せず、3名とも人材派遣会社へ委託し実施している。 【主な予算費目】委託料										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に同じ
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 外国人英語指導助手(ALT)3名を市内3中学校に派遣し、英語授業の助手として活用した。また、空時間を小学校の英語指導に活用した。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
市内中学に通う中学生及び同小学生	→ ア:中学校での指導時間 時間 イ:小学校での指導時間 時間
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
外国のことや英語への興味を持ってもらい英語力の向上につなげる	→ ア:市内中学校に通う中学生数 人 イ:市内小学校に通う小学生数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
学力が身についている	→ ア:抽出した生徒のうち英語が好きになったと答えた者の割合 % イ:抽出した児童のうち英語が好きになったと答えた者の割合 %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
	→ ア:標準学力において全国標準値を50とした場合の各学校の総合学力の平均値 偏差値 イ:

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	16,116	14,081	13,653	13,053	14,184	14,184	
	(A) 事業費計	千円	16,116	14,081	13,653	13,053	14,184	14,184	14,184	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	3	3	2	2	2	
延べ業務時間		時間	156	260	260	160	160	160	160	
(B) 人件費計	千円	619	1,035	1,035	637	637	637	637	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,735	15,116	14,688	13,690	14,821	14,821	14,821	0
活動指標	ア:時間		1,620	1,454	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	イ:時間		234	520	250	250	250	250	250	
対象指標	ア:人		1,717	1,710	1,671	1,671	1,680	1,683	1,683	
	イ:人		3,355	3,389	3,501	3,501	3,582	3,587	3,587	
成果指標	ア:%		未把握	未把握	未把握	80	83	86	89	
	イ:%		未把握	未把握	未把握	69	72	75	78	
上位成果指標	ア:偏差値		52.1	52.6	53	53.1	53.5	54		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 国が、昭和62年8月から実施している事業で、本市(町)では平成2年から開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 開始当初1名で実施していたが、2名増員し各中学校に1名配置し、実施中である。  
 H20年2学期から3名とも人材派遣会社へ委託している。  
 H21年度より事務事業名を「外国青年招致事業」から「ALT配置事業」に変更する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 議会から外国人の必要性の質問があった。

事務事業名	外国青年招致事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ <b>意図の外国のことや英語への興味を持ってもらい英語力の向上になることにより、結果の学力が身につけていることにつながる</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ <b>市内全中学校・小学校の授業が対象であり他に代えることができない。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ <b>対象、意図ともに妥当である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ <b>平成20年度の成果指標値が生徒で80%、児童で69%であり、児童についても80%以上に成果を上げたい。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ <b>ALTの全国的な配置状況からみても、英語教育には必要なものと考えられる。本市が廃止した場合、外国人と接する機会がなくなる事で、特に中学生に与える影響が生じる。</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <b>類似の事務事業がない</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>平成20年度は、3名のうち1名が国際化協会を通じて、2名が人材派遣会社へ委託していた。9月からは国際化協会からの1名が契約満了したため、人材派遣会社へ変更した。人材派遣会社との契約の際は、見積り合わせによる方法で安価な業者に決定しているので、これ以上の削減余地はない。</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>民間業者へ委託したため、これまでより職員が行っていた事務が軽減できた。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ <b>市内全校を対象に実施しているので、公平公正である。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>⇒ ②有効性については、平成20年度の成果指標値が生徒で80%、児童で69%であり、90%以上に成果を上げたい。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <b>平成20年度の成果指標値が生徒で80%、児童で69%であり、90%以上に成果を上げたい。</b>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 3名のALT及び小学校教諭、2名の小学校英語指導講師との綿密な連携を図る。																								

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	2	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )